

に が き
仁 柿 住 民 協 議 会

各地域の住民協議会の活動をシリーズで紹介しています。

稲わらの巨大オブジェ



令和元年秋、巨大な招き猫が登場しました。名前は「たまちゃん」です。



平成30年度には大迫力の「龍仁ちゃん」が登場。

仁柿地区は古くから関西と伊勢を結ぶ「伊勢本街道」の要所として多くの人が行き交った地域です。伊勢本街道は水銀を都に運ぶ街道として、兵馬の移動など軍事的な用途に、そして伊勢参りの街道として用いられてきた大変歴史のある街道です。仁柿の地は神宮の荘園や街道筋の宿場町として栄えた時期もあつたようです。

この地区は、津市美杉町との境である櫃坂峠(ひつさかとうげ)、いわゆる仁柿峠から櫛田川へと続く仁柿川沿い一帯の集落です。ここには237世帯489人が暮らしています。この地も過疎化、高齢化が進み、現在の高齢化率は48・5%と極めて高い地域となっています。

このような状況のなか、平成20年7月に「住みよい地域づくり」を目指して地域住民全体が参加する「仁柿住民協議会」を立ち上げました。地域の歴史的な遺産などを核に地域住民の皆さんと共に活動することで、過疎化・

高齢化の進行に対する問題解決につながればと考えています。

そのための取り組みとして、元旦の朝、街道を老若男女が疾走する「新春ジョギング大会」、地域の魅力再発見ウォーキング、沿線の休耕地を利用した「わた綿花」の栽培や「わら」の巨大オブジェ造りなどを行っています。さらに、住民協議会を構成する老人会や子ども会など各種団体への支援も行うことで、地域の活性化を目指しています。



伊勢本街道の保全にも力を入れています。

その効果もあり、来訪者が以前に比べ2〜3倍ほどに増えています。仁柿を訪れる方との交流も進み、地域の活力が高まりつつあることを感じています。

今後、「伊勢本街道」を中心とした取り組みにより交流を深め、協議会が目指す「住みよい地域づくり」を進めてまいります。

お知らせ

毎年1月末・3月頃
伊勢本街道の保全・活用



毎年、1月末には櫃坂峠の保全活動を、3月には「地域の魅力を再発見健康になろう!」をテーマにウォーキングを実施しています。ぜひご参加ください。

活 動 紹 介



「わた(綿花)」の栽培・販売

地域内の遊休地を活用し「わた(綿花)」の栽培と加工を行っています。昨年度からは皇学館大学の学生の皆さんと一緒に、手作り製品の販売にも取り組んでいます。



新春ジョギング大会

元旦早朝から、仁柿小学校を起終点に「新春ジョギング大会」を開催しています。毎年の恒例行事で、31回目の開催となった今年は220名が参加しました。



有事に備えた防災訓練

巨大地震の発生の可能性が高まるなか、災害に備える訓練は繰り返し行うことが必要です。身の回りの防災などについて再点検する機会として、防災訓練を実施しています。